

# 神戸女学院大学 心理学部 心理学科 精神保健福祉士養成課程 ニュースレター

第6号

## 小阪病院にて見学実習を させていただきました

3回生の授業(ソーシャルワーク実習指導 I)において、今年度も小阪病院にて見学実習をさせていただきました。

病院に加え、デイケアや生活訓練・就労定着支援など法人内の関連施設も見学させていただきました。それぞれの施設の特徴や事業内容、精神保健福祉士の関わりなどについても詳しく教えていただきました。



## 参加した3回生の感想

・小阪病院を見学して、患者さんに寄り添った環境づくりや安全への配慮、細かな対応が強く印象に残りました。例えば、建物の工夫として、病院内がガラス張りの設計で開放感があり、患者さんが安心して過ごせる空間になっていたことです。他にも、認知症病棟では掃除のしやすさからクッション性のあるタイルが使用されていたり、急性期病棟では自販機に缶に入った飲み物は販売せず、紙パックの飲み物のみが提供されているなど、患者さんの行動を制限せず自由に過ごせる環境を作るため、細かな配慮が行き届いている点が印象的でした。

・設計だけでなく、言葉にも気をつけているようで、例えば「作業」という言葉は強制的な感じがするので、「活動」という言葉を使っていることを聞き、言葉も大切にされていることがわかりました。

・特に印象に残ったのは、病棟内に患者さんが制作した作品が数多く掲示されていたことです。これらの作品から、病院の職員さんたちが患者さん一人ひとりの気持ちや表現を尊重し、寄り添おうとする姿勢が伝わってきました。加えて、作品が飾られることで、患者さんは自信や達成感を得られるのではないかと感じました。

・アプレンドとフォレストを見学させていただいた際、施設の見た目がシンプルだったことから、利用者さんがあまり抵抗感なく利用できると感じました。特に印象に残ったのは、壁に貼られていた利用者さんからのメッセージカードです。施設に通い出してから変わったというコメントなど、生き生きとした素敵なコメントが沢山あり、私まで嬉しい気持ちになりました。ソーシャルワーカーを含む支援職は大変で気を遣う場面が多いお仕事かもしれません。しかし、人が自信をもって前向きに生きられるようになるためのサポートや手助けができるやりがいのある職業だと、改めて感じました。



お忙しい中、貴重なお話と見学のお時間を設けていただき、心よりお礼申し上げます。

